

介護専門職の総合情報誌

おはよう21



認知症医療の第一人者は今何を思うか?
長谷川和夫 認知症と生きる

どうなる? 介護保険・社会保障制度
認知症施策の方向性と課題

職員研修はこうすればうまくいく
感染症対策

介護現場のマネジメント最前線
人手不足を解決するシフト改善

おはようクローズアップ
社会福祉法人サン・ビジョン
介護老人福祉施設・介護老人保健施設
ジョイフル名駅

写真と動画でわかる
介護技術スキルアップ



Web動画付き
スマホでも!



知らないと危険な 誤用・過用症候群

特集

あなたの介護が状態を悪化させる!?



読者参加型連載
杉本浩司の
介護を変えよう
会議



社会福祉法人サン・ビジョン
介護老人福祉施設・介護老人保健施設
ジョイフル名駅



中 部エリアで介護・保育などの事業を展開する社会福祉法人サン・ビジョン。施設数40、事業所数58箇所と、エリアで最も大きい規模の法人です。ジョイフル名駅は、同法人が6年前に開設した都市型の複合施設。名古屋駅から車で3分、周囲をオフィスビルに囲まれた14階建のビルの中に、特養・老健・サ高住・デイケアなどが運営されています。

オフィスビルを思わせる外観ですが、内部は、木材を多用した空間に、絵画や手づくりのディスプレイなども相まって、居住施設としての落ち着きが演出されています①。また、屋上には緑あふれる庭園があり、利用者の憩いの場となっています②。

特養・老健は、ユニットで運営されており、ユニットごとに介護職が利用者とともに生活をつくり上げています。取材中に印象的だったのは、現場のチームワークの良さです。平均年齢28歳という若い介護スタッフが声をかけ合う姿が頻繁に見られ、上司・部下関係を含む職員のコミュニケーションの良



① 落ち着きのある居住空間



② 名古屋の高層ビル群を見渡す屋上庭園

写真：清水朝子 2



③ 記録は携帯端末で行う



④ ベッドがそのまま車いすに

さを挙げる声が介護職からも多数聞かれました。そうした雰囲気は利用者にも伝わり、穏やかな時間を過ごすことにつながっていると感じます。

その背景として、同法人が職員を支えるさまざまな施策を行っていることに目を向ける必要があるでしょう。身体負担軽減のためのノーリフトイング・ポリシー③や、事務作業の時間短縮につながる記録のICT化④、業務分析に基づく残業時間の削減①、か月平均2〜3時間程度など、職員の心身の負担軽減策を行っています。

また、同法人では職員研修も充実させています。経験に応じた研修だけでなく、視野を広げるための海外研修も毎年実施。職員のキャリアアップを支えています。こうした法人としての姿勢が、スタッフの働き方、ひいては利用者の生活に良い影響を与えているといえます。

他方、法人内に社会貢献事業部を設けて、低所得者の就労支援事業や子ども食堂を運営するなど、地域貢献にも取り組んでいます。また、EPAによる海外からの介護福祉士候補者も80名となっています。時代の変化に対応する、法人としての積極性が現場からもうかがえる取材となりました。

社会福祉法人サン・ビジョン
介護老人福祉施設・介護老人保健施設
ジョイフル名駅



開設：2013年 入居者数（定員）：特養・老健ともに100名 所在地：愛知県名古屋市中村区 付設：ショートステイ、デイケア、訪問リハ、サービス付き高齢者住宅、居宅介護支援



鎌田實と語る 介護の“魅力”

働く人を一番大切に、
研修や、働き方改革にも力を入れる

竹内栄二さん

社会福祉法人サン・ビジョン理事 ジョイフル名駅介護老人保健施設施設長・医師

人材が集まる理由

鎌田 竹内さんは、心臓外科医から介護の世界に転身して6年なのですね。今日、一緒に施設を回りましたが、その間のお話からも、竹内さんが仕事を楽しんでいるのが伝わってきました。

竹内 はい。心臓外科とはまた違うやりがいがありますね。実は私は、父母

を9歳と101歳の超高齢で亡くし

ております。その当時、手術に明け暮

れる日々で、看取ることができません

でした。その報いでしょうか。現在、

ご高齢な方を丁寧に診させていただく

こととなりました。今では、自然と利

用者さんの名前を全員覚えるようにな

りました。

鎌田 それはすごい。利用者さんも嬉

しいと思いますよ。記憶力は衰えませ

んか？

竹内 毎日、お会いするたびにお名前

を呼んでいると、自然と記憶が維持さ

れていくんです。

鎌田 なるほど。介護の世界に来て、

どういう感想をもっていますか？

竹内 病院時代は、介護職の方と接す

る機会は少なかったのですが、皆さん

とても熱い心で利用者に向き合ってい

る。素晴らしいです。私の日常診療面

で言いますと、老健以外の方からも、

またご家族からのご相談も時々ありま

す。ご高齢者には循環器系に不安をか

かえる方が多く「心臓外科を学んで

良かった」と思うことが多々あります。

鎌田 こちらの法人はかなりたくさん

の施設を運営されていますよね。

竹内 40施設で、利用ベッド数は

3177床。職員は2500名を超

えています。

鎌田 それだけの人材を集めるのは大

変ではないですか？

竹内 年々厳しくなっていますが、

お陰様で、優秀な人材が集まってきて

いただいています。

鎌田 その秘訣はなんですか？

竹内 この仕事は「人柄」が一番大事

なので、教育はすごく重視しています。

優秀な方々には、オーストラリアやア

メリカへの海外研修にも行ってもらっ

ています。また、世界各国の老年学の

学者・WHO・行政の方々と話し合え

るよう、3年に1回、当法人が主催し

て国際会議も開催しています。そうい

うところが、魅力と考えるともらえてい

るのではないのでしょうか。

鎌田 超過勤務の時間もとても少ない

と聞きました。



竹内 定時に帰ることを当たり前のこととして、それが職員に定着しています。もちろんそのために業務分析をしたり、記録の時間短縮のためにシステムを導入するなど、法人としても効率化に取り組んでいます。

介護人材を リスベクトする社会に

つと高めていきたいと思っています。
鎌田 介護は大事な仕事なのに、介護人材はなかなかリスベクトされない現状のなかで、若者たちに魅力的な職場が広がると思います。
竹内 そうですね。この法人がその先頭に立てると良いなと思っています。

職場環境のよさから生まれる チームワークとケアへの思い

原 浩輔さん 介護老人福祉施設施設長・介護職歴19年

清水葉純さん 介護老人保健施設ユニットリーダー・介護職歴12年

八木のぞ美さん 介護老人福祉施設ユニットリーダー・介護職歴6年

価値観を広げてくれる 海外研修

鎌田 ズバリ、この施設の魅力はなんですか？

清水 まず私が答えますね。実は、私はここで働き始めて1年で一度辞めた後、戻ってきたんです。

鎌田 そうなんだ。どうして？

清水 2年くらい派遣で介護の仕事をしていたんですが、当時ここでは普通だった電子記録とか、ノーリフティン

グを他の施設では、どこもやっていたんです。

それにここでは、現場からの新しい提案も受け入れてくれます。外に出たことで、

この良さに気づいて、ま

た仕事が出来たと思っただけです。

鎌田 それが魅力なんだね。八木さんは、どうですか？

八木 人間関係が本当に良いことですね。日頃から助け合う関係性があるし、

看護師さんなどの他職種とも相談しやすくて、失敗しても責めるんじゃない

くて、次に向かってどうしたらいいかを一緒に考えてくれる雰囲気があるんです。

鎌田 研修も魅力の一つですか？

八木 そうですね。私はサンフランシスコの研修に行きました。海外は初めてで、最初は嫌だなあと思っただけです。でも行ってみると、視野がすごく

大事だと思っただけで取り組んでいます。

鎌田 残業が少ないのはどうして？

原 所定の勤務時間内で仕事を終わらせるように、個人個人がスケジュールを大事にしつつ、それでも終わらない場合は、次の勤務体系の人に任せられるような風土づくりを心がけています。

八木 たとえば事務作業で仕事が終わらない場合でも、何にどれくらいの時間がかかっているかを調査して、できるところは簡易化するようになっています。場合によっては、看護師さんやリハの方にヘルプに入ってもらって、その間に事務作業をするといった形で柔軟に対応しています。

鎌田 介護職として一番大切にしていることはなんですか？

清水 笑顔を大切にということ、利用者にとって私自身が一番にはならない

広がって、成長につながったのを実感しています。

清水 私もサンフランシスコ研修に行きました。海外と日本で価値観が全く違うのが分かりましたし、特に

マインドフルネスなどの介護職のセルフケアについて学びました。

鎌田 英語は困らなかった？

清水 2、3人に1人、コーディネーターの方がついて通訳してくれたので、まったく困らなかったです。

鎌田 そこは少し困って、英語を覚えてもよかったかも(笑)。でも貴重な経験だね。

助け合いの精神で 残業をなくす

鎌田 施設長にとっては働きやすい職場ですか？

いように心がけています。利用者様にとっての一番は、あくまでご家族です。まずはご家族との関係が良くなるように、介護職はその次に大切な存在になるように、と考えています。

八木 私が大切にしているのは、利用者一人ひとりの「空気感」に合わせることです。表情やししゃべり方をよく見て、それに合わせて接する、というのが私のこだわりです。

原 私は相手の痛みを理解することです。利用者皆様には、ご縁があった施設のサービスをご利用いただけていますが、本当はご自宅で過ごされるのが理想だろうとも思うのです。施設サービスを利用しなければならぬご本人やご家族の痛みをきちんと理解して、そのお気持ちに寄り添ってあげたいと思っています。

鎌田 素晴らしいね。ありがとうございます。



左から清水さん、鎌田先生、八木さん、原さん

原 働きやすいですね。
鎌田 定時に帰れる？
原 私は必ず定時とはいかないですが、ちゃんと家庭で子どもとかかわれるくらいには早く帰れています。

鎌田 施設長という立場だと、それなかなかできないんだよね。人手が足りないときは戦力の一人にもなるし。どういう経歴で介護の世界に入ったのですか？

原 介護の専門学校に通いながら、通信教育の大学で社会福祉学も学びました。施設長になったのは、3年前です。

鎌田 何を期待されて施設長になったと思いますか？

原 なんです(笑)。とにかく、利用者様や周りの方に誠実に接することを心がけて仕事をしています。

鎌田 入居者を確保するために、どのような努力をしていますか？

原 各職員の皆さんがよりよいケアができて利用者様を選ばれる施設になるように、皆さんの背中を押す。地味ですがそれが



大事だと思っただけで取り組んでいます。

鎌田 残業が少ないのはどうして？

原 所定の勤務時間内で仕事を終わらせるように、個人個人がスケジュールを大事にしつつ、それでも終わらない場合は、次の勤務体系の人に任せられるような風土づくりを心がけています。

八木 たとえば事務作業で仕事が終わらない場合でも、何にどれくらいの時間がかかっているかを調査して、できるところは簡易化するようになっています。場合によっては、看護師さんやリハの方にヘルプに入ってもらって、その間に事務作業をするといった形で柔軟に対応しています。

鎌田 介護職として一番大切にしていることはなんですか？

清水 笑顔を大切にということ、利用者にとって私自身が一番にはならない

訪問を終えて 鎌田 實

若くて素晴らしい人材が集まるのは、法人に魅力がある一番の証拠だね。

